



①YKK AP東北事業所で40周年記念植樹 ②一ノ蔵で酒樽の目録贈呈 ③歓迎交流会での宮城野部屋一門の紹介 ④あ・ら・伊達な道の駅で大勢のお客さんに迎え入れられる ⑤古川支援学校で児童・生徒を激励 ⑥ハーモニーさんぼんぎで地域の皆さんとの触れ合い



大崎市民病院産科でお母さんと赤ちゃんに触れ合う横綱

おおさき宝大使

横綱白鵬関が やつてきた!

5月29日・30日の両日、おおさき宝大使である、大相撲第69代横綱白鵬関と宮城野親方、宮城野部屋力士の皆さんが本市を訪れ、市内各所を精力的に巡って市民皆さんと交流を深めました。横綱の本市訪問は、今回で9度目です。

29日は、大崎市民病院本院三本木地域のYKK AP東北事業所、松山地域の一ノ蔵を訪問しました。

市民病院に到着すると、隣接する古川第五小学校6年生の児童たちの熱烈的な歓迎で迎え入れられました。

立ち寄った4階の産科では、安産であるようにお腹を撫でてほしいというリクエストに快く応え、また、赤ちゃんが健康で元気に育つようにと、大きな

な手で、赤ちゃんの小さな手をやさしく包んでいました。

YKK AP東北事業所では、同社の40周年記念植樹などを行い、一ノ蔵では、2月に横綱が母国モンゴルから贈られた「労働英雄賞」の受賞記念式典で使用する、鏡割りの酒樽の贈呈式が行われました。

また、この日の夜は、「横綱白鵬 宮城野部屋大崎ファンクラブ」が主催した250人以上の皆さんが一堂に集った歓迎交流会にも出席。握手やサイン、記念撮影にも快く応じて、市民と垣根のない交流を深めました。

翌30日は、岩出山地域のあ・ら・伊達な道の駅、古川地域の宮城県立古川支援学校、三本木地域の障害児授産施設ハ-

モニーさんぼんぎを訪問しました。

あ・ら・伊達な道の駅では、居合わせたお客さんたちが作った花道を通って会場へ。道の駅からは、姉妹都市北海道当別町のジンギスカンなどが贈られました。

第30回記念の運動会が行われていた宮城県立古川支援学校では、横綱が到着すると会場から大きな歓声があがりました。横綱は「夢を持ち続けてほしい。夢はいつか必ずかなう」と、児童・生徒の皆さんを熱く激励し、小学部、中学部、高等部の児童・生徒全員と記念撮影を行いました。

障害児授産施設ハーモニーさんぼんぎでは、通所している皆さんの歓迎の太鼓演奏に迎



▲古川第五小学校の児童たちとハイタッチ!

え入れられ、地域の皆さんが手づくりで用意してくれたお餅づくしに舌鼓を打ちました。また、同施設の今後の発展を願って記念植樹を行い、2日間の訪問を終えました。

横綱が最初に本市を訪れたのは平成23年6月。東日本大震災で沿岸部などから避難してきた皆さんを励ますため、宮城野部屋特製ちゃんこ鍋の炊き出しを行うために駆けつけ、てくれました。このことが縁となり、おおさき宝大使に就任していただきました。

以来、内陸部最大の被災地であり、沿岸部の被災者が避難生活を送る本市には、特に思いを寄せていただき、少しでも被災者の励ましになればと、本場所や全国巡業の忙しい合間をぬって訪れてくれていま

震災復興のためにと、文字通り一肌脱いでご協力してくられた、横綱が市長や市民の皆さんと一緒に、満面の笑顔で鳴子温泉の野天湯につかる観光ポスターは、作成から2年が経った今でも大変好評です。また、昨年7月の新市民病院開院時には、全勝優勝を果たした時の大変貴重な優勝額を寄贈いただくなど、被災地、被災者に真剣に向き合う真摯な優しさを感ぜさせられます。

市長コラム 天・地・人

相撲道復活!



大相撲がスモジヨ(相撲女子)の急増などで盛況です。若手力士の台頭やイケメン力士の存在も人気の一因ですが、なんとと言っても横綱白鵬関が果たした役割とその貢献は群を抜いています!

野球賭博騒動や八百長問題などで揺れ続け、信頼が地に落ちた大相撲を「二人横綱」として支え続け、白鵬杯少年相撲大会の開催や東日本大震災の復興支援など、横綱が誰よりも率先したことで、他の力士たちを動かし、相撲協会一丸となった取り組みが信頼回復、人気復活につながったものでしょう。

東日本大震災が発生した平成23年3月11日は、白鵬関の26歳の誕生日でした。やせ細った15歳のモンゴルの少年を大横綱にまで育てあげてくれた日本の相撲。この相撲を通して、被災者に元気を与え、復興に必死に取り組み被災地の心の支えになってくれま

した。

本市には、沿岸部から二次避難者を受け入れていた鳴子温泉に慰問交流で訪れていた、いただきました。アマチュア相撲で全国大会などに出場経験のある私は、横綱と意気投合。観光大使(おおさき宝大使)の懇請を快諾いただき、今日まで大崎市との交流が続いています。

これまで、観光ポスターへの出演や復興イベントへの参加、市民病院への優勝額の寄贈、宮城野部屋直伝なる子ちゃんこ鍋の普及など、積極的なご支援・ご協力をいただき、9回目の来訪となった今回も、精力的に市民と交流を行っていただきました。

前人未到の偉業を成し遂げた横綱白鵬関が、益々相撲道を極め、相撲史に新たな歴史を刻まれることを心から念じ、復興や青少年健全育成に、引き続き、ご支援いただき、ことを願う一人です。

大崎市長 伊藤 康志